

RT39-6120 負圧式ブリーダー（コンパクト）取扱説明書

この度は、RT39-6120 負圧式ブリーダー（コンパクト）をお買い上げいただきありがとうございます。必ずこの「取扱説明書」の内容をよく読み理解した上で、本製品を安全にご使用ください。また、いつでも読むことができるように大切に保管してください。



警告

下記内容をお守りください。重大な事故や死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・ 本製品は、圧縮エアを利用し、負圧を発生させて液体を吸引する工具です。主にブレーキ（クラッチ）フルードの交換時、効率的に作業できるよう設計されています。目的以外の使用を絶対にしないでください。
- ・ 圧縮エアは、指定の範囲内で使用してください。***推奨エア圧 0.6MPa**
- ・ ガソリン・シンナー・灯油等の引火性・爆発性のある液体には使用しないでください。火災や事故の恐れがあります。
- ・ 毒性のある化学薬品や揮発性の高い有害物質には使用しないでください。吸引して中毒や健康被害を起こす恐れがあります。
- ・ 吸い込んだ液体が周囲に飛散する可能性があります。目や皮膚に付着すると失明や炎症を起こす可能性があります。使用時は保護メガネ・保護マスク・保護手袋・作業着を着用してください。
- ・ 本製品を改造・分解しないでください。
- ・ 子供の手の届く場所に保管しないでください。



注意

下記内容をお守りください。負傷や物的損害の可能性があります。

- ・ ブレーキフルードが車両等に付着した場合は、直ちにふき取り、洗浄してください。
- ・ 各接続部は、確実に取り付けてください。液漏れやエア吸引の原因になり、正常に作動しない場合があります。
- ・ 吸引作業時は本製品を直立させ（傾けず）、安定した状態で使用してください。また、ゆすったりしないでください。吸引中に本体が極端に傾くと、排気口からフルードが噴き出す恐れがあります。
- ・ 回収したフルードをタンクいっぱいせず、こまめに排出してください。タンク一杯になると、排気口からフルードが噴き出す恐れがあります。

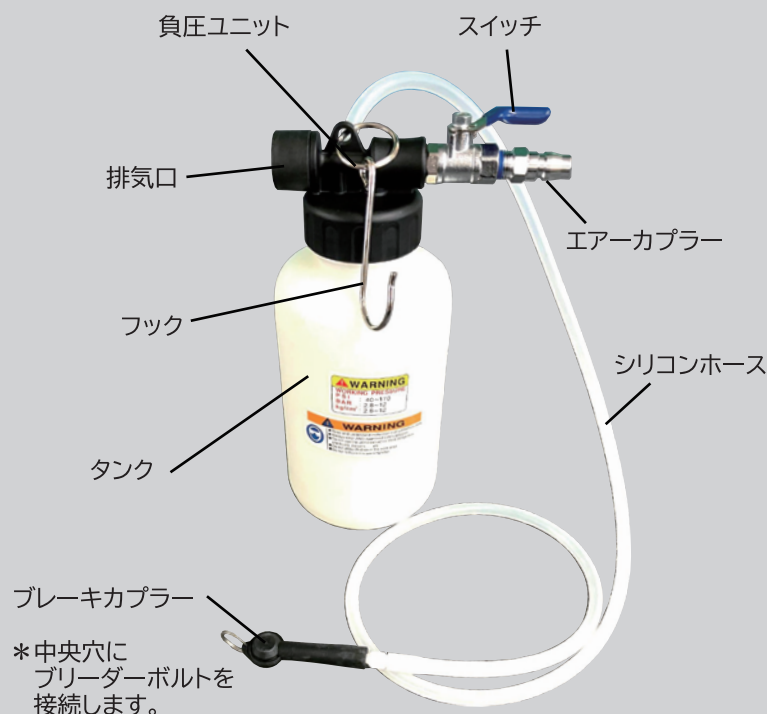


使用上の注意

下記内容をよく読み理解してください。

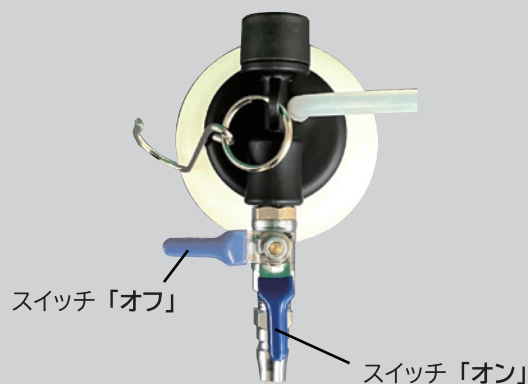
- ・ タンクの上部（ユニット）には、吸入口があります。吸引作動時に本製品を傾けたり、ゆすったりするとフルードが吸入口に浸入し、排気口から噴出します。吸引時は本体を水平にして、衝撃を与えないでください。噴出した場合は、廃油を捨ててからスイッチをオンにして、フルードが噴出しなくなるまで出し切るか、分解清掃してください。
- ・ 排気口をふさがないでください。正常に負圧を発生せず、吸い込み不良やフルードが逆流する不具合が起こる可能性があります。また、目詰まりがある場合は、分解清掃してください。
- ・ EV・ハイブリッド車・一部高級車等の電子制御ブレーキシステム搭載車は、診断機を使用した特殊な交換作業が必要な場合があります。これらの車両には本製品は使用できません。本製品を使用する前に、必ずブレーキ仕様および交換手順を確認してください。
- ・ フルード吸引時にホース内へ混じり込む気泡は、ブリーダーボルトの隙間から吸い込まれたものでブレーキラインへの空気混入（エア噛み）ではありませんが、作業中は常にリザーバタンクへフルードを供給し、完了後はペダルを踏んで踏み応えに違和感がないか必ず確認してください。

■ 各部名称



■ 仕様

使用エア圧	0.3～1.2MPa
推奨エア圧	0.6MPa
タンク容量	1L
ホース長	約 1m
全長(最長部)	150mm
全高	240mm



■ 使用方法

《 ブレーキフルード交換 作業前準備 》

1. タンクが確実に締まっているか確認してください。(緩んでいると吸引が弱くなる可能性があります)
2. 車両のフルードリザーバータンクに、フルードを供給する装置をセットしてください。
3. スイッチがオフであることを確認した後、エアーカプラーにコンプレッサーからのエアーホースを接続してください。

《 ブレーキフルード交換 作業 》 *作業はエンジン停止状態で行ってください。

1. 車両ブレーキキャリパー（ドラム）のブリーダーボルトに、緩めるための工具とブレーキカプラーをセットします。
2. スイッチを「オン」にして、タンク内を負圧にします。
3. ブリーダーボルトを緩めて、フルードを吸引します。
4. 適量抜き終わったら、ブリーダーボルトを締めてから、スイッチを「オフ」にしてください。
5. すべてのブレーキのフルード交換を完了したら、エアーホースを切り離してください。
6. 車両のブレーキペダルを数回踏んで、固くなり違和感がなくなったら、車両のフルードリザーバータンクのフルード量を調整してください。

《 廃油排出 》

- ・ 圧縮エアを接続していない状態で、タンクを緩めて外し、ブレーキフルードを排出してください。

■ メンテナンス

- ・ 本体に汚れが付着した場合は、洗剤で湿らせた布でふき取ってください。
- ・ 定期的に内部清掃（タンクを取り外し、タンク内部・ユニット内側を水で洗浄して乾燥）してください。
- ・ 本体、ホースに損傷・変形・異音等の異常がある場合は直ちに使用を中断し、損傷部品の交換またはお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。

